

民生委員児童委員としての地域福祉へのかかわり大野西地区民児協 荒木嘉信

(我が事・丸ごと地域共生社会)

(支え合う 住みよい社会 地域から)

(広げよう 地域に根ざした 思いや)

高齢者

- ・全般的見守り活動
- ・気になる世帯訪問活動、相談活動
- ・日常的支援活動
- ・ふれあいサロン、お茶の間サロン、ミニサロンへの参画
- ・区内年間行事への参画
- ・地域ケア会議・ちょっとひと息医療と福祉の相談室(主に高齢者福祉部会対応)
- ・区内福祉サービス事業所との交流

*地域包括支援センター

*社会福祉協議会

*地域づくり振興課

区の福祉部会に所属

- *区長(コミュニティ会長)、副区長、組長
- *老人会、女性会、育成会、消防団
- *母子保健推進委員
- *更生保護女性会

区の自主防災会に所属

- ・同意書の把握
- ・個別避難計画
- ・要支援者の情報の共有
- ・総合避難計画

民生委員児童委員

- ・教職員との交流

- ・学習支援コーディネーター(各団体へ呼びかけ)
- ・各区の地域調整員(各区へ呼びかけ)

大野学園学校支援本部事業

- *地域の子どもたちと、幼い頃からよく知り合う
(地域の教育力)=(地域の福祉力)

*小学校

- ・新入生下校見守り
- ・日常的登下校見守り(主として老人会)
- ・読み聞かせ(全クラス週1回)
- ・放課後はつかいち寺子屋塾(週2回)
- ・遠足、宮島、地域探険等校外活動見守り
- ・学習規律、書道、そろばん、図工、調理、裁縫見守りと支援
- ・昔遊び支援(主に老人会)
- ・ステップアップタイム支援

*中学校

- ・数学や英語、家庭科などの授業や放課後の支援
- ・生徒、児童、地域の合同清掃
- ・こども区長・副区長との話し合い
- ・PTA主催の地域懇談会

小学生対象の通学合宿

- ・ブックスタート事業への協力(主に児童家庭福祉部会対応)
- (・子育てサロン運営)
- (・子どもの居場所 子ども塾)

児童・子育て

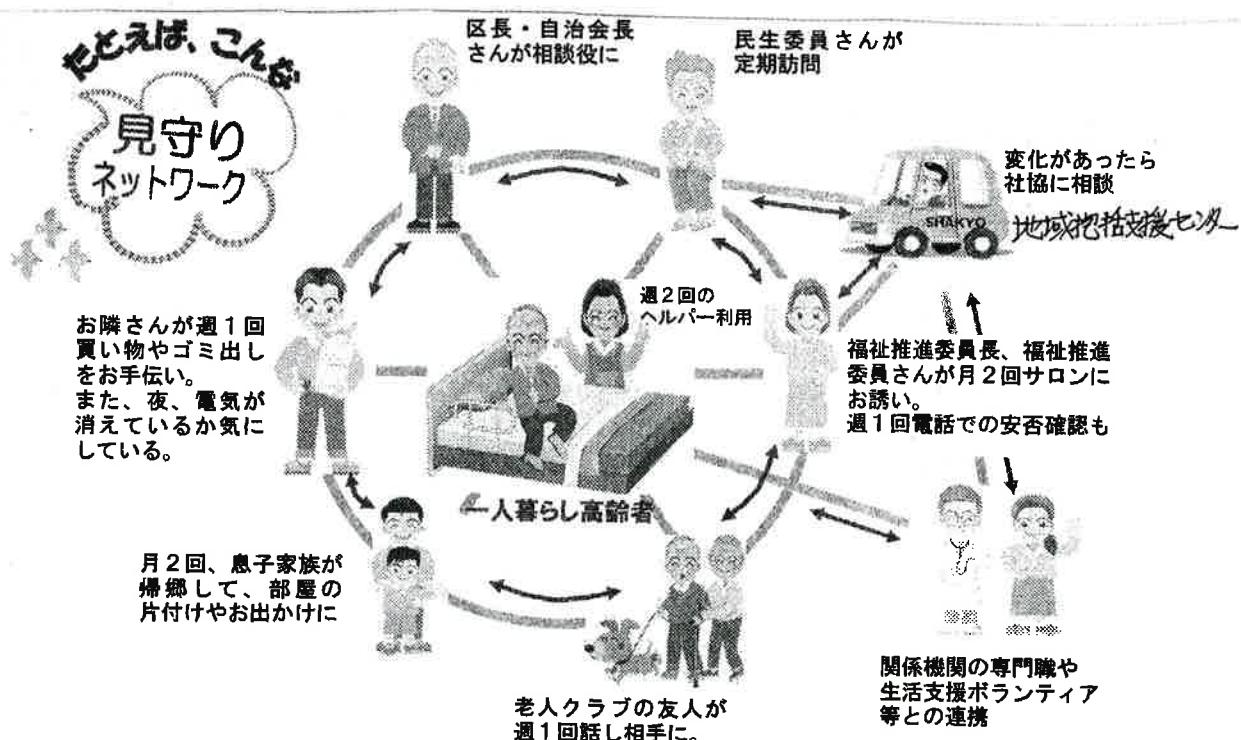
*社会福祉協議会

計画期間中のめざす姿(H28～H30) 『地区・地域』
 ・制度の理解が進み、取組が広がっている
 ・「考え方、話し合う場」が定着している
 ・見守り活動を通じて対象者の発見ができる

(・気になる人へのかかわりを・見守りだけに終わらずに必ず話し合いを)

平成30年3月3日(土)に第37回大野地域福祉推進研究協議会が開かれ、多数の地域福祉の推進にかかわっている人、関心のある人が参加して前向きに研修しました。テーマは『自分はどのような立場で地域包括ケアシステムに関わる?』でしたがその時の講師のローカリズム・ラボ代表の井岡仁志さんの資料を参考にしました

多様な主体がつながる協働によるまちづくり



- ・戦時中のような隣組は出来ない(全体統制)
- ・1970年代の高度経済成長と核家族化
- ・ネットによる情報の共有
- ・急速なつながりの希薄化
 - ・わずらわしさからの脱退(自治会、女性会、老人会、子ども会)
 - ・家族葬の拡大・講の衰退(帳場のお手伝いも)
 - ・隣とのトラブル